

情報公開文書

作成日：2026 年 9 月 1 日

患者様各位

多枝 MICS CABG における両側内胸動脈グラフトの研究に関するお知らせ

研究の背景

冠動脈バイパス術（CABG）では、長期的な血行再建の質を保ちながら身体への負担を軽減することが重要です。当院では胸骨正中切開を行わず左胸の小切開から行う低侵襲冠動脈バイパス術（MICS CABG）に取り組み、両側内胸動脈（BITA）を用いた多枝血行再建を行っています。

研究の目的

当院で BITA を使用して多枝 MICS CABG を受けた患者様の診療記録を振り返り、内胸動脈採取手技の習熟過程、手術の安全性、グラフトの使用法および退院前 CT でのグラフト開存性を評価します。これにより、安全で再現性の高い MICS CABG の標準化に役立てることを目的とします。

研究の対象となる方と研究期間

対象者：2015 年 7 月から 2026 年 6 月までに友愛医療センター心臓血管外科で、多枝冠動脈疾患に対して MICS CABG を受け、左右両方の内胸動脈を使用した患者様のうち、プログラム開始から最初の連続 100 例。

研究実施期間：倫理審査委員会承認日～2027 年 12 月 31 日（予定）。

研究に利用する情報

年齢、性別、併存疾患、心機能、手術時間、内胸動脈採取時間、バイパス吻合数、使用したグラフトおよびその構成、人工心肺や胸骨正中切開への移行、輸血、術後合併症、退院前冠動脈 CT によるグラフト開存性など、通常診療で既に得られている情報を利用します。

研究に際し行うこと

研究のための新たな検査、採血、投薬、治療、通院は行いません。電子カルテ、手術記録、画像診断記録等の既存情報のみを使用します。

研究に伴う患者様の負担・不利益

研究参加に伴う身体的・金銭的負担はありません。診療情報の漏えいを防ぐため、解析時には氏名や患者番号など直接個人を識別できる情報を削除し、研究用の番号で管理します。

患者様の人権・個人情報の保護

研究結果は学会や学術雑誌で公表する予定ですが、個人が特定される情報を公表することはありません。研究データは院内のアクセス制限された環境で適切に管理します。

研究への参加を希望されない場合

この研究への診療情報の利用を希望されない場合は、下記連絡先までお申し出ください。研究への参加を拒否されても、今後の診療において不利益を受けることはありません。ただし、既に匿名化され個人を特定できない状態で解析・公表済みの場合には、情報を除外できない場合があります。

研究費・利益相反

本研究に特定の研究費はなく、企業等から研究資金、薬剤または医療機器の提供を受けません。研究者の利益相反は院内規程に従って管理します。

研究責任者・お問い合わせ先

社会医療法人友愛会 友愛医療センター 心臓血管外科

研究責任者：山内 昭彦

〒901-0224 沖縄県豊見城市与根 50 番地 5

電話（代表）：098-850-3811